

2 景観課題の整理

玉村町の概況や上位関連計画におけるまちづくりの方向性、景観特性と景観の阻害要因などの把握結果を踏まえ、景観づくりの基本的な考え方となる「まもり(保全)」「いかす(活用)」「つくる(創出)」「よいものにする(改善)」「そだてる(育成)」の4つの視点から、景観課題を整理します。

<景観づくりの基本的な考え方>

『まもり(保全)、いかす(活用)』

- 守るべき景観を適切に守るとともに、これらを活かし、その魅力をさらに高めること

『つくる(創出)』

- 新しい玉村町の魅力、「誇りや愛着」の感じられる町の景観を創り出すこと

『よいものにする(改善)』

- 良好な景観を損ねている部分を取り除き、良いものとする

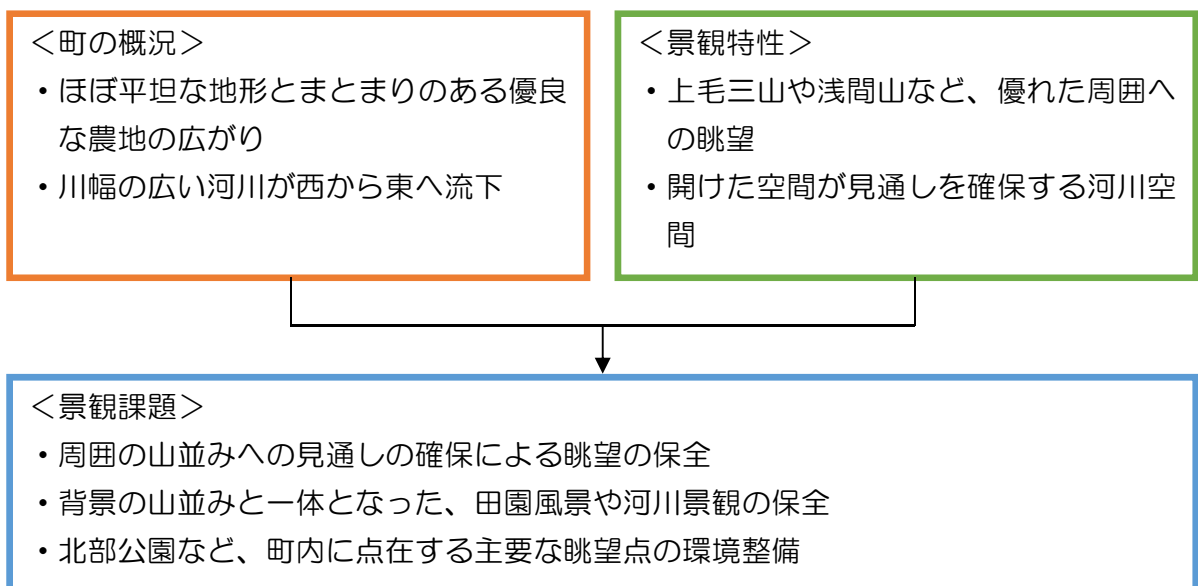
『そだてる(育成)』

- 住民共有の財産として、ともに育てていくこと

(1) 「まもり(保全)、いかす(活用)」視点からみた景観課題

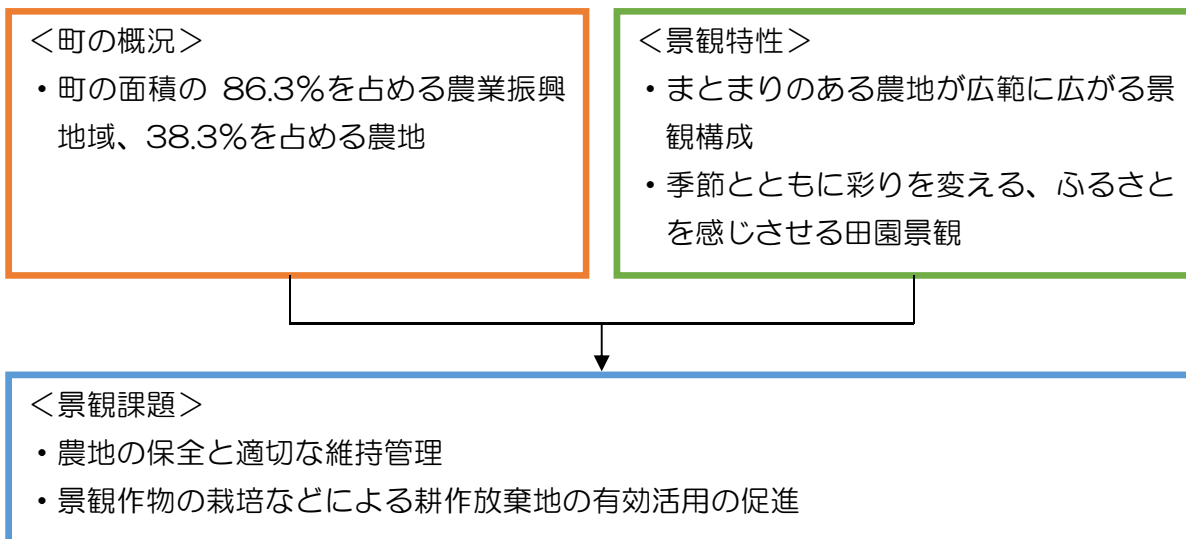
守るべき景観を適切に守るとともに、これらを活かし、その魅力をさらに高める視点から、景観課題は次のように把握されます。

○上毛三山をはじめとする眺望景観の保全

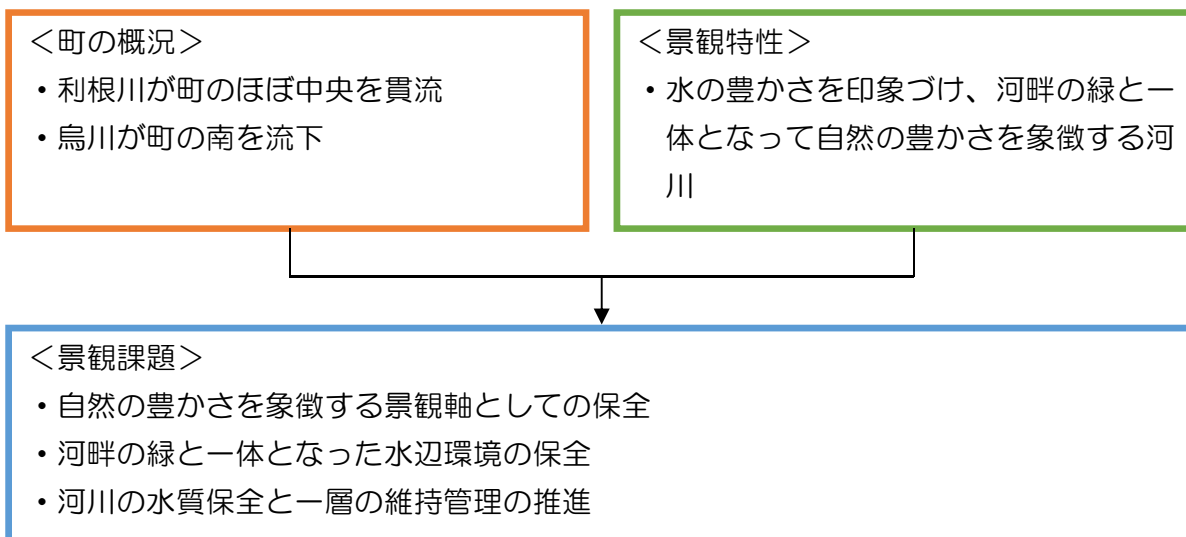




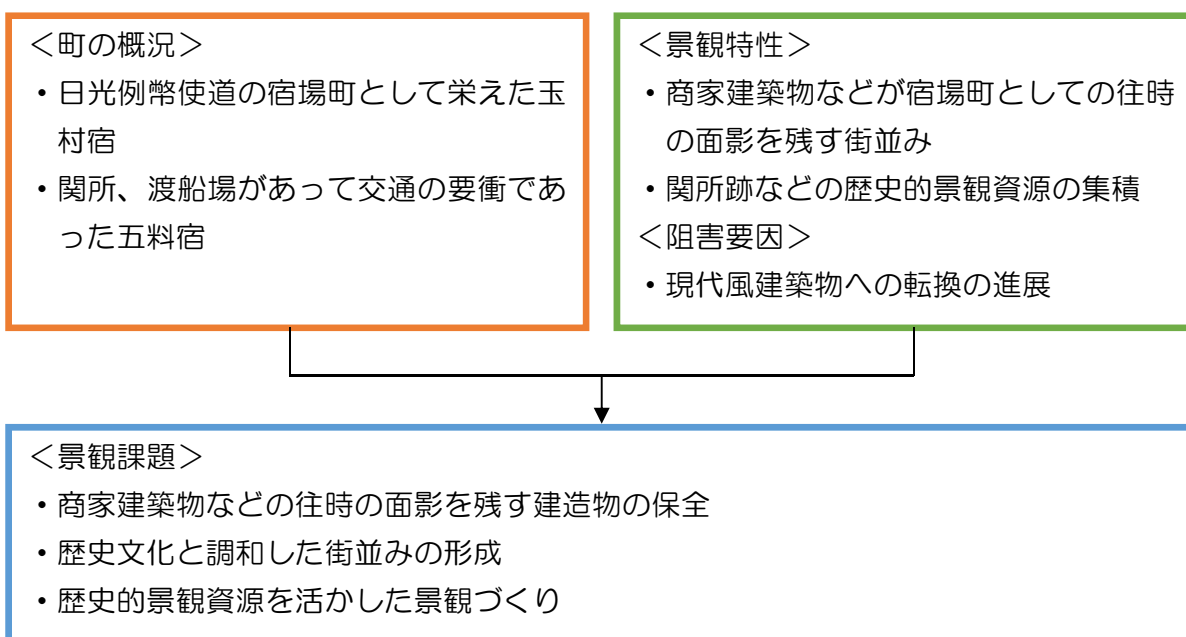
○ふるさとを感じさせる田園風景の保全



○水辺景観の保全

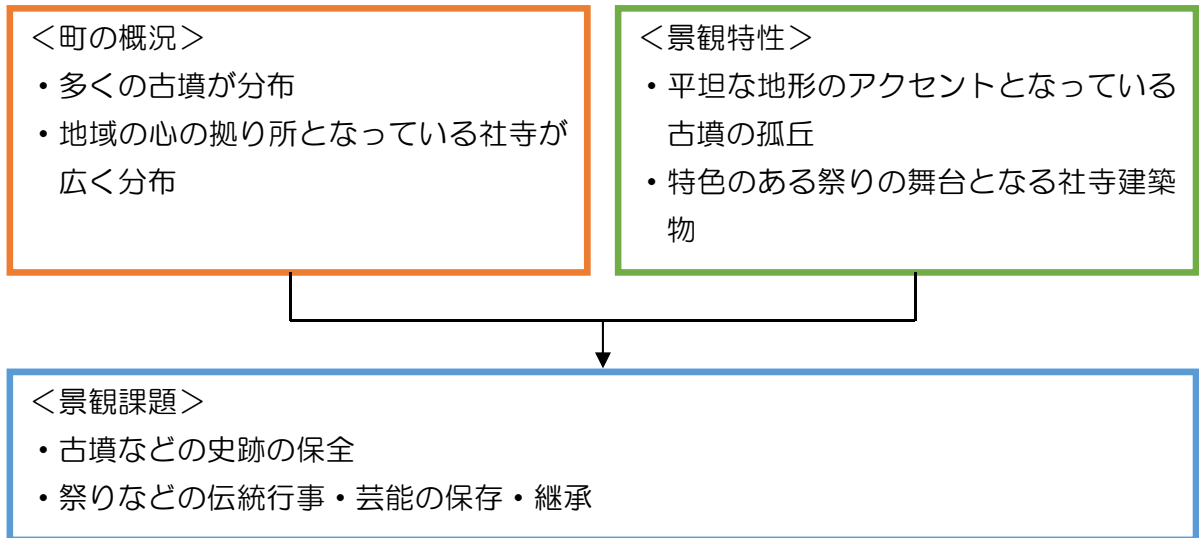


○旧宿場町としての歴史的景観との調和・活用



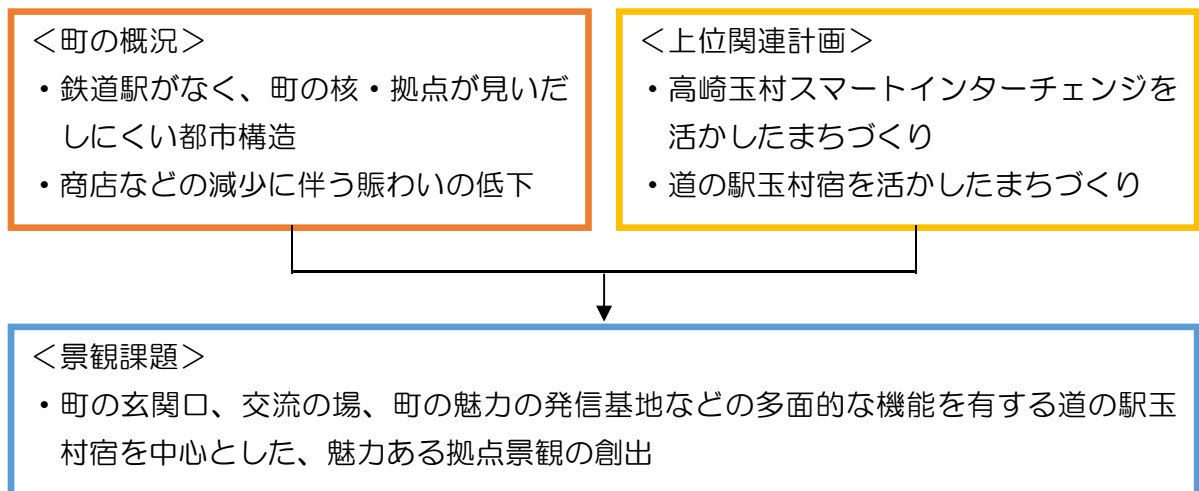
2 景観課題の整理

○古墳などの史跡や社寺の保全・活用

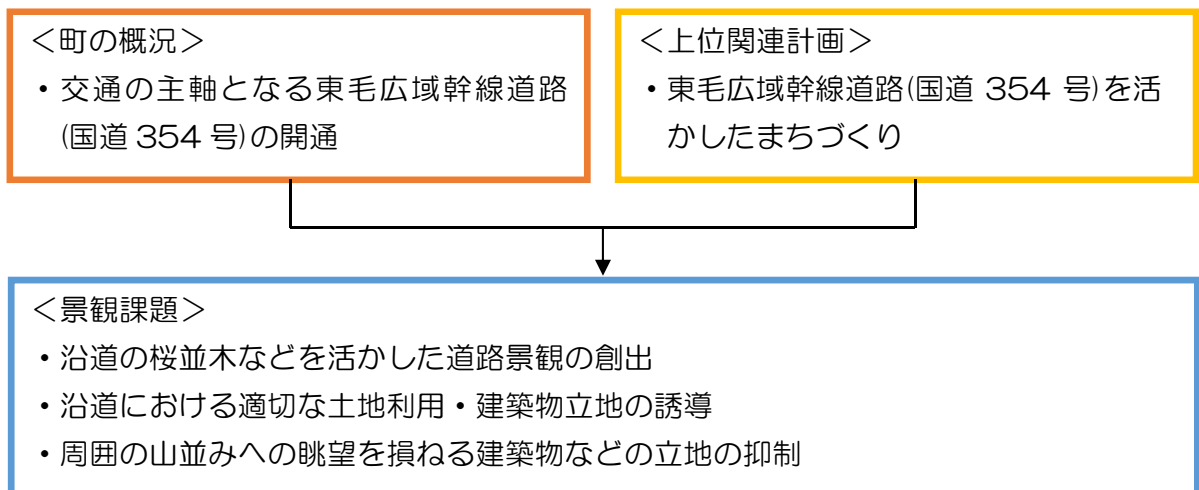


(2) 「つくる(創出)」視点からみた景観課題

○まちの拠点となる景観の創出

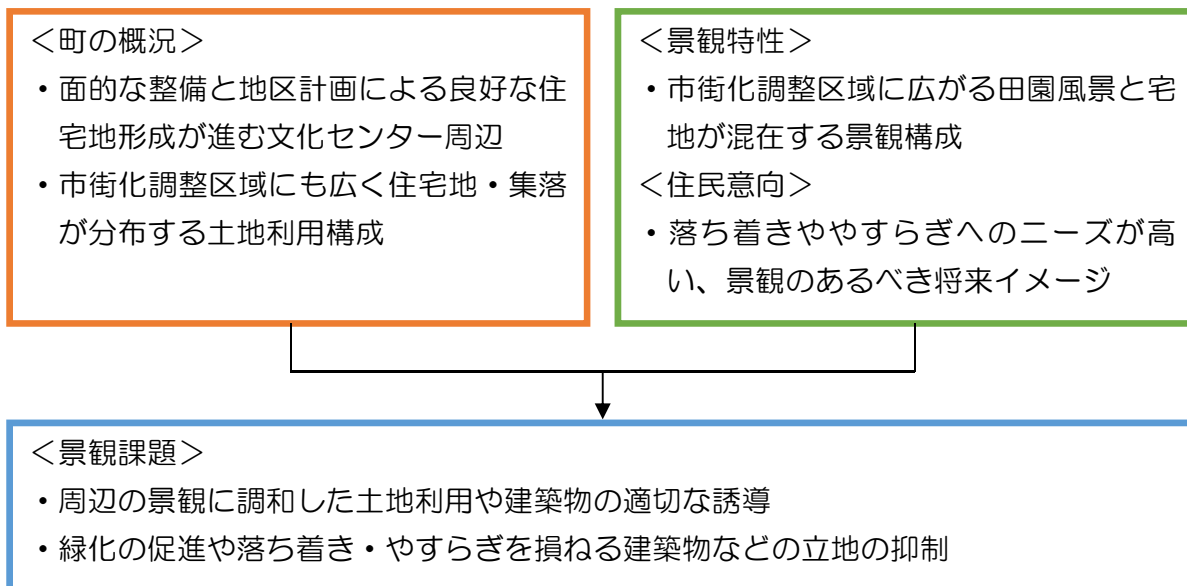


○良好な幹線道路沿道景観の創出



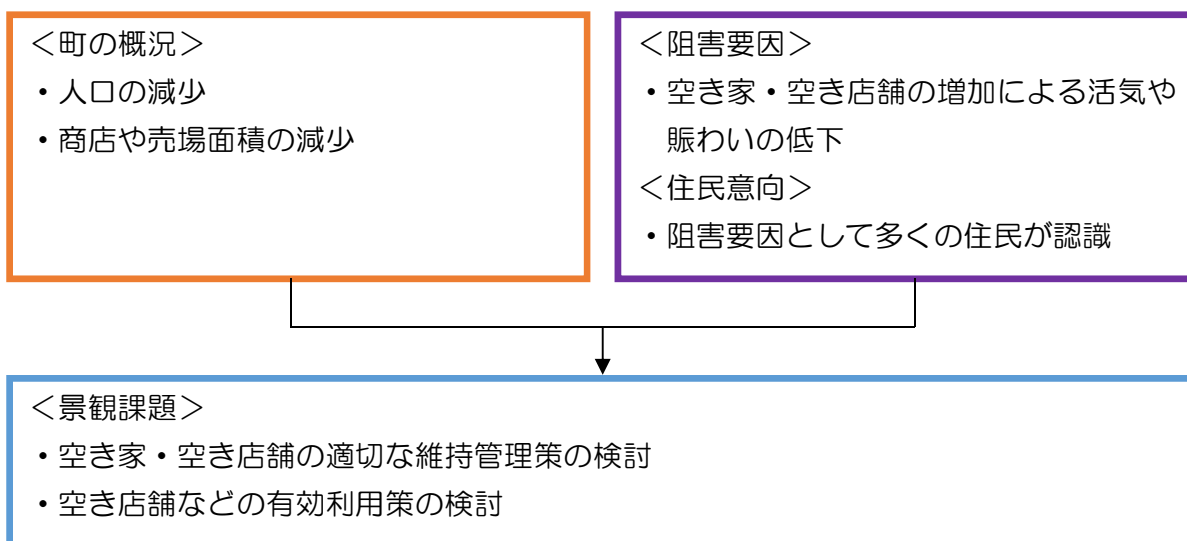


○落ち着いたやすらぎの感じられる住宅地・集落の景観の創出

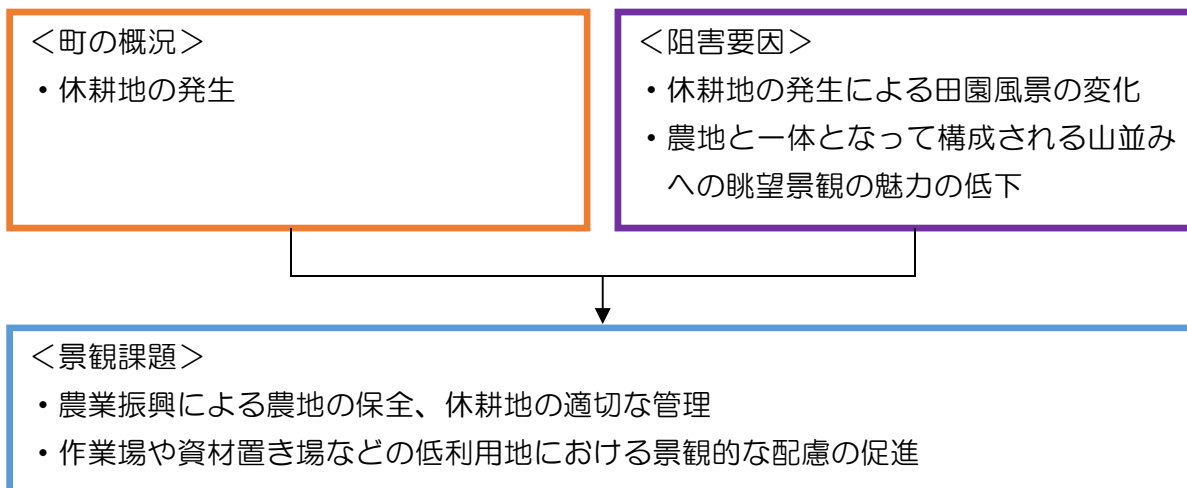


(3)「よいものにする(改善)」視点からみた景観課題

○空き家・空き店舗などの有効活用や適切な管理

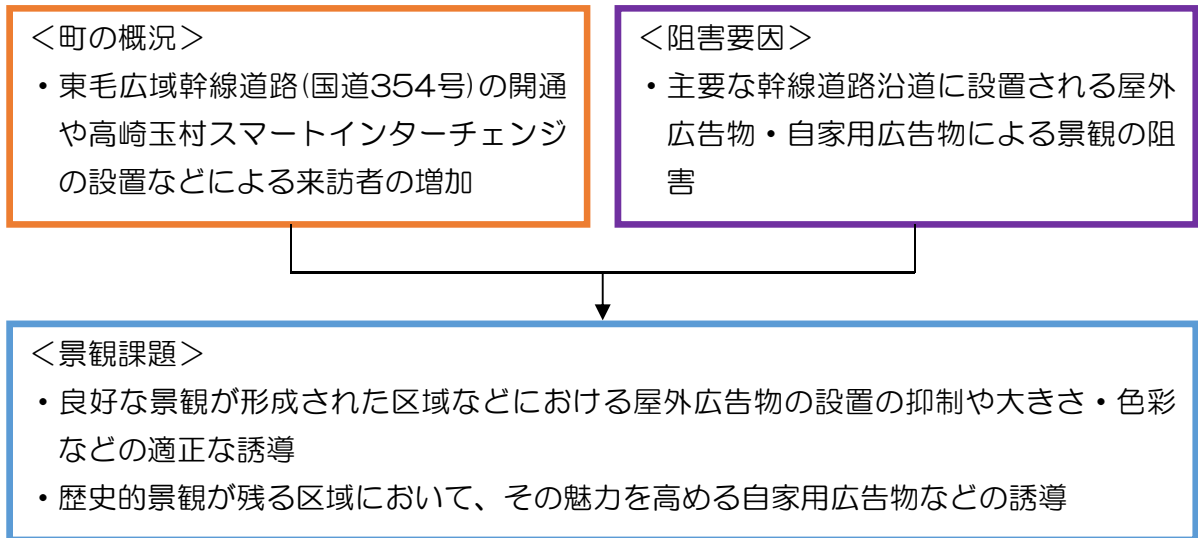


○周辺と調和した土地利用の誘導

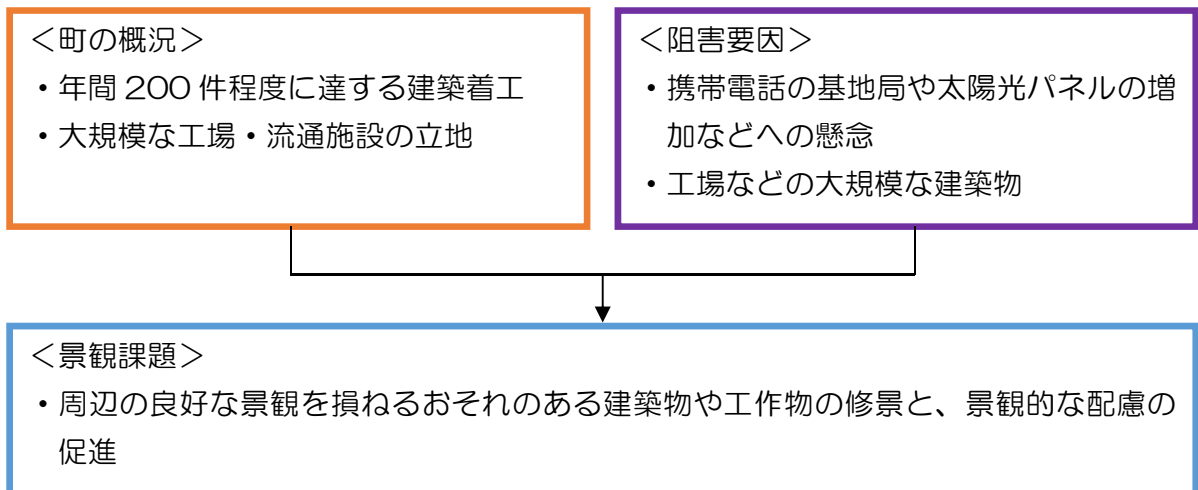


2 景観課題の整理

○屋外広告物の適切な誘導

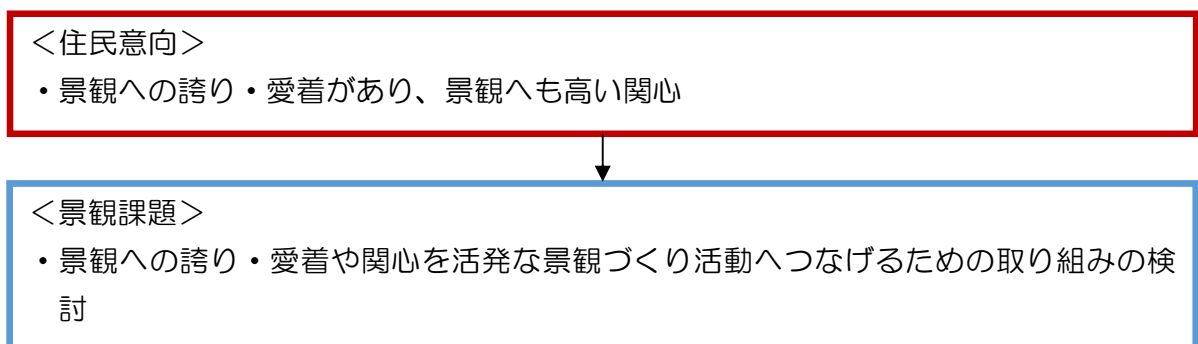


○周辺と調和しない建築物や工作物などの抑制



(4) 「そだてる(育成)」視点からみた景観課題

○住民の景観に対する意識の醸成





○住民の主体的な景観づくりを促す仕組みづくり

<住民意向>

- 景観づくり活動などへの支援や話し合いの場・機会に対する高いニーズ



<景観課題>

- 住民の主体的な取り組みを支援する仕組みの検討
- 住民相互、住民と行政の連携・協働による景観づくりに向けた体制の構築